

顔の見える木材での快適空間づくり事業

【テーマ】森林・林業の再生、維持とA材の持続可能な新流通システムの展開

背景と目的

【背景】森林資源の有効活用、川上と川下を直接結ぶことで山元への還元を確保することを目的に埼玉県秩父地域において取り組んできたA材流通プラットフォームシステムについて、他地域への展開を見据えたシステムの見直しが必要となっている。

【目的】現在取り組んでいる秩父地域におけるプラットフォームについて川下側の参加拡大を見据えたシステムの見直しを行い、秩父材の更なる付加価値向上及びカスケード利用の拡大を目指す。また、福岡県をはじめ、自治体等と連携しながら、他県においても同様の取り組みを展開する。

対象とするA材丸太を原材料とする付加価値の高い木材製品

森林再生、維持という理念の下、品質情報、保証とを合わせ持つ、他にはない付加価値を有する材として「SPウッド」と名付け、展開、普及する。SPウッドは工務店と山元が直接取引をする形態とし、丸太一本一本にQRコードを貼付し、径級や長さ、強度等の情報を提供することで、エンドユーザーに対して生産者の顔(と品質)が見える住宅の普及に取り組む。

写真・図等



原木丸太伐採時から製品になる迄の木材履歴情報が入力されたQRコード



QRコードによって履歴・品質が管理された地域材「SPウッド」



「SPウッド」を使用した住宅の構造材で情報が確認出来る外壁には羽柄材を使用

事業実施主体

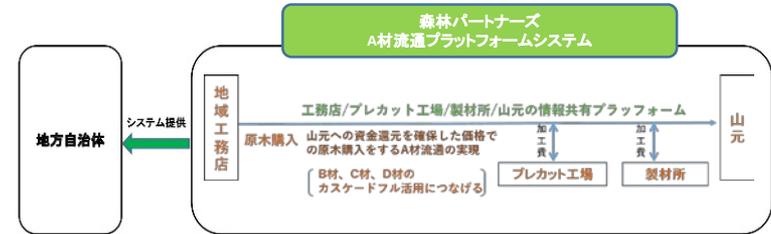
森林パートナーズ株式会社

実施体制・連携グループ

連携グループ: 秩父樹液生産協同組合・金子製材(株)・島崎木材(株)・大野建設(株)・伊佐ホームズ(株)

上記グループと合わせて埼玉県・福岡県の林業関係部局とも協議のうえ実施・検証する。

また、三重県・千葉県でも同様の取組を検討する。



事業内容(利用拡大に向けた具体的な実施項目)

- ①参加工務店の増加にともなう、トレーサビリティシステムの見直し・再導入
- ②プラットフォームの運営に欠かせないコーディネーター等の人材育成
また、育成の際に必要な、運営マニュアルやコーディネーションマニュアルの策定
- ③埼玉県・福岡県での普及啓発イベントの開催、コンサルティング、プラットフォーム強化・構築、三重県・千葉県における導入に向けた検討

目標として、一地域住宅50棟向けA材構造材(原木約1,250m3)の流通を実現し、さらに同地域内での100棟展開(原木約2,500m3)をベースに、その後拡大、他県での6次産業化実現にもノウハウを提供し、道を付ける。

スケジュール

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

システム改善、効率化見直し(協議・検証)

コーディネーター育成

導入